

# 初級段階における中国語発音指導の再考 — 母音指導を中心とした指導方法の模索 —

呉 青姫

## アブストラクト

本稿の研究目的は、初級中国語学習指導における母音指導に重点をおき、母音の発音ルールと指導方法を模索することである。発音の習得は語学を効率よく勉強するための基礎になるだけでなく、学習者の学習意欲を高め、持続的学習に結びつけるものである。しかし、表記上は6種類しかない単母音は多重母音や習慣的読み方によっては同字異音（ピンイン表記は同じであるが発音の仕方が異なる）や同音異字（発音の仕方は同じであるがピンイン表記が異なる）の現象が生じるため、綿密に言うとも6種類の母音は15種類の発音に分類できる。本稿では、2011年春学期に中国語 I の学習者の協力の下で得られた朗読データと IPA 表記法に基づいて、複雑な中国語の母音のルールを総括し、2011年秋学期に中国語 I の学習者に実験した「手拍子による母音学習指導法」の指導事例を紹介する。本研究は、言語学や音韻論による分析ではなく、経験則に基づく総括と分析である。分析結果によると、学習者の発音困難はピンインの表記方法及び単母音とは異なる多重母音の変化音に対する理解不足や不慣れが原因であった。このような複雑な母音の背景知識を理解したうえで、臨界期を超えている学習者に受け入れやすい発音習得方法を模索することは教育上重要な意義をもつ。

キーワード：母音、調音音声、IPA 表記、同音異字、同字異音

## 1. はじめに

初級中国語学習者からは中国語の発音が難しいという声がしばしば聞こえてくる。彼らの声をきっかけに APU の中国語学習者のように臨界期<sup>1</sup>を超えている学習者の発音難点を解明し、発音のクオリティを上昇させる指導方法を模索する目的で、2011年春学期の学習者からは幾度か発音のサンプルを取って研究に努めた。外国における初級中国語教育ではピンイン指導の導入が決まりとなっているが、事実上中国人の幼児教育や中国本土で中国語を勉強している学習者の一部はピンイン習得抜きに直接漢字を覚えさせる方法をとる場合も少なくない。ピンインは1958年中華人民共和国で制定された「漢語拼音(ピンイン)表記法案」をもとに定められた表記方法で、漢字を当てる媒介発音記号である。中国国内では読めない漢字に出会った場合でも友人や知人など誰かの協力を得て知らない漢字の読み方が解決できる言語環境におかれているためピンイン習得しない場合もあるが、外国で中国語を勉強する学習者は知らない漢字に出会った場合、自分で辞書を引いてその字が読めるようにならなければならないため、ピンイン習得は非常に重要であり、特に持続的に中国語を学びたい学習者や独学したい学習者にとってはなおさら欠かせない重要な学習過程でもある。

中国語の音節は子音、母音、声調の三つの要素から成り立っており、ピンインもこの三要素の構成によって表記されている。表記上具体的には、表1にまとめてあるように21個の子音、6つの単母音、9つの二重母音、4つの三重母音、8つのn鼻母音、8つのng鼻母音、軽声を含む5つの声調から成り立っている。しかし、その詳細な表記方法と発音方法の種類を比較してみると、子音は21種類の表記方法に対して27種類の発音があるが、声調は1声から4声と軽声を合わせて5つの表記方法が発音時には3声の派生音である半3声を合わせ6つの発音種類となる。母音に関しては、多重母音は基本的に6つの単母音の組み合わせによって38種類の表記方法ができるのに対し、発音は35種類に分類可能である。しかし国際音声記号(International Phonetic Alphabet、以下ではIPA表記と略す)表記の詳細を考察すると分かるように母音の発音は子音やピンインとは違って同じ表記方法を使いながらも読み方が様々であり、6種類の単母音に15種類の発音の仕方がある。

母音は字義どおり母なる音であるため、単独でも成り立つ音であるのに対し、子音は母音無しに単独に発音することができない。中国語の発音指導に関しては、兪(2005)などによって大いに議論されているが、議論の対象の多くは子音、母音、声調などのすべての音節要素における概観であって、母音のみに焦点をおいた議論は十分に行われてこなかった。

事実上、母音は変化多き音であることから正確な発音指導は容易でない。本稿では経験則に基づいて母音における問題点をまとめることを試みた。学習者の習得状況と学習難点の原因を探るため、母音の発音ルールを探し出すことは、学習者が受け入れやすい指導法を模索する上においても、初級中国語発音指導において重要な貢献になることと確信する。

表 1 音節構成の3要素の表記方法と発音方法

音節構成要素と特徴		表記方法	発音方法		
子音	唇音	b, p, m, f	[b, / p], [p*], [m], [f]	27種類	
	舌尖音	d, t, n, l	[d, / t], [t*], [n], [l]		
	舌根音	g, k, h	[g/ k], [k*], [x]		
	舌面音	j, q, x	[dʒ/ tʃ], [tʃ*], [ʃ]		
	舌歯音	z, c, s	[dʒ/ tʃ], [tʃ*], [ʃ]		
	そり舌音	zh, ch, sh, r	[dʒ/ tʃ], [t ʃ*], [ʃ], [ʒ]		
母音	単母音	a, o, e, i, u, ü	[a], [o], [ɤ], [i], [u], [y]	35種類	
	二重母音	ai, ao, ou, ei, ia, ie, ua, uo, üe	[ai], [au], [ɤu], [ei], [ia], [iɛ], [ua], [uo], [yɛ]		
	三重母音	iao, iou/iu, uai, uei/ui	[iao], [iɤu], [uaɪ], [ueɪ]		
	鼻母音	n鼻母音	an, en, in, ian, uan, uen/un, ün, üan		[an], [ən], [in], [iæn], [uan], [uən], [yn], [yæn]
		ng鼻母音	ang, eng, ong, iang, ing, iong, uang, ueng		[ang], [ɤŋ], [oŋ], [iaŋ], [iɤŋ], [yŋ], [uaŋ], [uɤŋ]
声調	ā, á, ǎ, à, a		1声から4声、軽声の五つの基本声調以外に半三声が存在する	6種類	

注[ ]内はIPA表記による発音表記である。

出所) IPA表に基づいて作成。

従って、続く第2節ではまず2011年春学期の最後に学習者からとった朗読データをもとに母音発音の誤りを概観し、問題が生じた原因を探る。第3節では表記上の問題、同字異音や同音異字の性質を持つ母音の発音ルールをIPA表記を用いてまとめる。第4節では調音音声法に取って代わって母音を簡単に習得できる方法を模索した結果、2011年秋学期に行なった手拍子による母音の自然習得法を紹介する。終節「おわり」には分析全体をまとめると同時に今後の課題を提示する。

## 2 朗読実験による母音の発音考察

学習者の母音習得状況を把握する目的で2011年春学期の学期末に、最終課の本文朗読サンプルを取った。以下ではまず対象者の属性を紹介し、朗読データに見られる発音の誤りをIPA表記で表してから、正誤表を作成して母音の発音が間違っているケースをパターン化してみた。

- ・音声サンプル：立命館アジア太平洋大学の2011年春学期の中国語履修生からとったもの
- ・分析対象者：ODとOGの二クラスの中国語履修生46人
- ・国籍：韓国、タイ、インドネシア、ベトナム、ラオス、カナダの国際学生が計21人、日本人学生が25人
- ・各履修生の中国語学習時間：90分授業×4回/週×54週=324時間を経過した時点でとったもの
- ・朗読資料：2008年版、張美霞・陳薇著/是永駿監修、『加油！中国語』の第15課「再见！朋友」

以下は15課の本文をピンイン表記したもので、読み間違った発音はピンインの右横の[ ]の中にIPA表記をした。ここで紹介している発音の間違いは一人の実験者によるものではなく、異なる実験者に見られる発音ミスをすべて取り上げたものである。

Shānběn: Shí jiān[jɛŋ] guò[go] de zhēn kuài[k<sup>h</sup>ai] a! Mǎ shàng jiù yào huí guó le.  
 山本: 时间 过 得 真 快 啊! 马 上 就 要 回 国 了。  
 Wáng: Shì a. Shān běn, nǐ de Hànyǔ jìn bù de zhēn kuài[k<sup>h</sup>ai]!  
 王: 是 啊, 山 本, 你 的 汉 语 进 步 得 真 快!  
 Shānběn: Nǎ lǐ nǎ lǐ, hái chà de yuǎn[yǎn] ne. Tián[t<sup>h</sup>ən] zhōng de Hànyǔ bǐ wǒ hǎo.  
 山本: 哪 里 哪 里, 还 差 得 远 呢, 田 中 的 汉 语 比 我 好。  
 Lǐhuì: Bié qiān[tiɛ<sup>h</sup>ən] xū[su] le. Nǐ de Hànyǔ bǐ wǒ liú lì de duō.  
 理惠: 别 谦 虚 了, 你 的 汉 语 比 我 流 利 得 多。

Màikè: Dōu[doo] bié qiān[tɕʰən] xū[ɕu/su] le, nǐ men liǎ de Hànyǔ dōu[doo] bǐ wǒ bàng.  
 麦克: 都 别 谦 虚 了, 你 们 俩 的 汉 语 都 比 我 棒。  
 Lǐ: Bié shuō le, xiān chī [tɕʰi] ba. Lái, zhù[dzɿ] dà jiā xué xí qǔ[tɕʰu] dé gèng dà[dɛ] jìn bù, gān bēi[bɛi]!  
 李: 别 说 了, 先 吃 吧. 来, 祝 大 家 学 习 取 得 更 大 进 步, 干 杯!  
 Yángzǐ: Wǒ zhù dà jiā zǎo rì [zɿ] chóng féng, gān bēi!  
 阳子: 我 祝 大 家 早 日 重 逢, 干 杯!  
 Wáng: Āi, ràng wǒ gěi dà jiā pāi yì zhāng hé[xoə] yǐng ba. Lái, hǎo, . . . qié . . . zi.  
 王: 唉, 让 我 给 大 家 拍 一 张 合 影 吧. 来, 好, . . . 茄 . . . 子.

これらの音声データの結果から考察できるように学習者の母音発音は非常に不安定である。では発音が不安定な原因は何か？母音の影響なのかそれとも発声器官の違いによって中国語の母音発音自体が困難なのか？それとも何かの阻害要因によって発音の乱れが生じたのか？ところが発声部位や発声器官の位置調整をする調音音声指導を通じて学習者に発音再生をさせて見たところ、それぞれの学習者は個別的な調音音声指導によって正確に発音ができた。ではなぜ音声キャッチ能力があり、発音自体ができるにも拘わらず、このような発音ミスが生じたのだろうか？

以上の朗読実験から学習者の母音発音ミスのパターンを探るため、発音ミスを正しい IPA 発音表記に直して表 2 のような正誤対照表を作成してみた。

表 2 IPA 表記による正誤対照表

ピンイン	誤	正	ピンイン	誤	正	ピンイン	誤	正
jiān	[jɛn]	[jiæn]	guò	[go]	[guɤ]	kuài	[kʰai]	[kʰuai]
yuǎn	[yɛn]	[yæɲ]	tián	[tʰən]	[tʰiɛn]	qiān	[tɕʰən]	[tɕʰiæn]
xū	[ɕu/su]	[ɕy]	dōu	[doo]	[dɤu]	chī	[tɕʰi]	[tɕʰɿ]
zhù	[dzɿ]	[dzɯ]	qǔ	[tɕʰu]	[tɕʰy]	dà	[dɛ]	[da]
bēi	[b .]	[bɛi]	rì	[zɿ]	[ɹɿ]	hé	[xuə]	[xɤ]

注) 実験結果をもとに作成。

表 2 からは母音の発音ルールの全体像はまだつかみにくにしても、発音ミスの原因が母音の表記方法と母音の同音異字や同音異音、その他の多くの原因によって発音障害が生じていることが確認できる。以下ではこれらの原因をパターン別に分けて例を挙げてみよう。

- ①母音表記による原因：“取(qǔ)”や“虚(xū)”のように特殊的な表記方法によって *ü* と *u* を間違えて読む場合
- ②同音異字による原因：“过(guò)”や“合(hé)”のように *o* と *e* のそれぞれ異なる表記をしながらも同じ [ɤ] の発音をする場合
- ③同音異音による原因：*a* と表記しながら時には“谦(qiān)”や“远(yuǎn)”のように [æ] と発音をし、時には“大(dà)”のように [a] の発音をする場合
- ④その他による原因：“日(rì)”のように *i* と表記しながらも [i] ではなく、[ɹ] と発音する場合

以上の概観を通じて学習者の発音障害は複雑な母音のルールに慣れてないことから生じていることが分かった。では実際に中国語の母音にはどのような発音ルールがあり、どのような間違いやすいケースが存在しているのか？朗読実験結果をより具体化し、中国語母音全体の発音ルールを把握するため、次節では中国語にある 6 つの単母音 (a, o, e, i, u, ü)、9 つの二重母音 (ai, ei, ao, ou, ia, ie, ua, uo, üe)、4 つ三重母音 (iao, iou/iu, uai, uei/ui)、16 個の鼻母音 (an, en, ang, eng, ong, ian, in, iang, ing, iong, uan, uang, uen, ueng, üan, ün) を総括的に分析することで、母音の発音ミスが生じやすい原因を探ることとする。分析では上記の発音実験分類と同じく、①表記方法による原因、②同音異字による原因、③同音異音による原因、④その他の原因の四つのパターンに分けて考察してみることにする。

### 3. 母音の発音ミスが生じる原因

前節では朗読実験例をあげて母音発音に存在する部分的問題点を指摘してきた。本節ではそれらをもとに母音発音の全体像を描き出すため、単母音、多重母音(二重母音と三重母音、鼻母音)を表記方法と発音方法の両角度から考察する。

### 3.1 母音の表記方法

中国語の母音の表記方法には声調の付け位置<sup>2</sup>や子音を付ける場合と付けない場合の表記方法<sup>3</sup>などのルールがある。これらのルールの詳細は注釈にまわし、本節では発音を紛らわしくさせるピンイン表記方法だけに触れておきたい。

読み間違いをしやすい表記とは、見せ掛けの二重母音①iuと②ui、③鼻母音 un、④üを伴う多重母音 üe, ün, ün が子音 j, q, x を伴う場合の表記方法である。

iou/iu は母音のみの発音を表記する場合には注釈3で説明したピンイン表記ルールに従って you と表記するが、子音の m, d, n, l, j, q, x を伴う発音の場合には、間の主母音 (Vowel)<sup>4</sup>o は抜きにして miu, diu, niu, liu, jiu, qiu, xiu のように「子音+介母 (Medial)+尾音 (Ending)」で表記する。しかし発音時には o の名残の変化音 [ɤ] が微かに残って聞こえる。

uei/ui も子音なしに母音の発音をそのまま表記する場合には wei と表記するが、子音の d, t, g, k, h, zh, ch, sh, r, z, c, s を伴う発音の場合には dui, tui, gui, kui, hui, zhui, chui, shui, rui, zui, cui, sui のように間の主母音 e は表記しない。しかし発音時には e の近似音である [e] の音も発音する。

uen/un もピンイン表記ルールに従って母音のみの発音は wen と表記するが、子音の d, t, l, g, k, h, zh, ch, sh, r, z, c, s を伴う発音の場合には dun, tun, lun, gun, kun, hun, zhun, chun, shun, run, zun, cun, sun のように主母音 e は表記しないが、発音時には e に近い [ə] の発音が聞こえるのである。

以上の子音を伴うピンイン表記では母音部分は介母と尾音で表記し、主母音を抜きにしているケースである。iu は主母音 o、ui は主母音 e、un は主母音 e のように主母音を抜きにして介母と尾音で表記しているが、実際にはそれぞれ主母音の名残音が微かに聞こえるように発音されるため、発音時に意識しないと間違った発音になりやすいので、これらの表記方法を意識させることが重要である。

ü は母音のみの音は yu と表記する。ü は他にも n, l, j, q, x の 5 種類の子音と一緒に音節を構成するが、j, q, x と一緒になる場合には表記が ü ではなく u に変わる。一方、n と l は母音の u とともに音節を構成するため、ü を u に表記すると確実に発音を間違えてしまう。よって ü を伴うピンインを読む場合学習者は ju, qu, xu, jue, que, xue, jun, qun, xun, juan, quan, xuan を読む場合に ü を u として読み間違えたり、nu を nū に、lu を lū に読み間違える現象が生じる。

### 3.2 IPA 表記による母音の発音ルール

中国語の単母音は a, o, e, i, u, ü の 6 つの基本母音から成り立っており、これらの単母音の発音は IPA 母音表記に従うと [a], [o], [ɤ], [i], [u], [y] で表すことが可能である。ところが母音の発音はそれぞれの母音文字に対応する発音が一つだけでなく、いくつかの音をもつ「多音母音」、言い換えると同字異音の場合と同じ発音に聞こえるがピンイン表記方法が全く異なる場合がある。よって以下では多角度から母音の発音変化ルールを把握することに努めた。

表3から表8までにおいて各母音別に同字異音のケースを個別的に考察してから、表9の同字異音表に再度まとめてみたが、ü が単一発音をする以外、a と o は 3 つ、e は 5 つ、i は 6 つ、u は 2 つの読み方ができる。また表10の同音異字表では同じ発音をしながらも発音の表記が異なるケースをまとめてみた。

表3 母音 a の IPA 表記表

単母音	a			
	[a]			
二母重音	ao	ai	ia	ua
	[aʊ]	[aɪ]	[ia]	[ua]
三母重音	iao	uai		
	[iaʊ]	[uar]		
鼻母音	an	ian	uan	üan
	[an]	[iæn]	[uan]	[yæ̃n]
鼻母音	ang	iang	uang	
	[ang]	[iaŋ]	[uaŋ]	

注) 上段は母音のピンイン表記で、下段はIPA表記である。  
網掛け状になっている部分は紛らわしい発音を示す。  
出所) IPA表記をもとに作成。

表4 母音 o の IPA 表記

単母音	o		
	[o]		
二母重音	ao	ou	uo
	[aʊ]	[ɤʊ]	[uo]
三母重音	iao	iou/iu	
	[iaʊ]	[iɤʊ]	
鼻母音	ong		
	ɔŋ		
鼻母音	iong		
	yɔŋ		

注) 表3と同様。  
出所) 表3と同様。

表 5 母音 e の IPA 表記

単母音	e [ɤ]	er [aɪ/əɪ]	
二母重音	ei [eɪ]	ie [iɛ]	üe [yɛ]
三母重音	uei/ui [ueɪ]		
鼻母音	en [ən]	uen/un [uən]	
	eng [ɤŋ]	ueng [uɤŋ]	

注)表3と同様。  
出所)表3と同様。

表 6 母音 i の IPA 表記

単母音	i [i]			
二母重音	ai [aɪ]	ei [eɪ]	ia [ia]	ie [iɛ]
三母重音	iao [iaʊ]	iou/iu [iɔʊ]	uai [uaɪ]	uei/ui [ueɪ]
鼻母音	ian [iæn]	in [in]		
	iang [iaŋ]	ing [iɤŋ]	iong [yɔŋ]	
その他	ji [dʒi/tɕi]	qi [tɕʰi]	xi [ɕi]	
	zi [tsɿ]	ci [tsʰɿ]	si [sɿ]	
	zhi [tʂʅ]	chi [tʂʅʰ]	shi [ʂʅ]	ri [ʐʅ]

注)表3と同様。  
出所)表3と同様。

表 7 母音 u の IPA 表記

単母音	u [u]		
二母重音	ua [ua]	uo [uo]	ou [ɔʊ]
三母重音	iou/iu [iɔʊ]	uai [uaɪ]	uei/ui [ueɪ]
鼻母音	uan [uan]	uen/un [uən]	
	uang [uaŋ]	ueng [uɤŋ]	

注)表3と同様。  
出所)表3と同様。

表 8 母音 ü の IPA 表記

単母音	ü [y]	
二母重音	üe [yɛ]	
鼻母音	ün [yn]	üan [yæn]

注)表3と同様。  
出所)表3と同様。

表 9 同字異音の母音

単母音	発音の種類			
a	[a]	[a]	[ɛ]	
o	[o]	[ɔ]	[ɤ]	
e	[ɤ]	[a]	[ɛ]	[ə]
i	[i]	[ɪ]	[iɤ]	[y] [ɨ] [ʌ]
u	[u]	[ɔ]		
ü	[y]			

出所)筆者作成

表 10 同音異字の母音

IPA	母音		
[a]	a	e	
[ɛ]	a	e	
[ɔ]	o	u	
[ɤ]	o	e	i
[y]	ü	i	

出所)筆者作成

このように、表3から表8のようにそれぞれの母音がどのような発音の形をしているのかを細かく分類してみれば明らかのように、単母音の発音をそのまま多重母音の発音に適用してはいけない。すなわち、aの表記は[a]、o表記は[o]、e表記は[ɤ]、i表記は[i]、u表記は[u]、ü表記は[y]と発音すると間違った発音に繋がりが易い。また表10のように母音の表記は異なるが、同じ発音をする音も学習者の発音判断を紛らわしくさせていることが検証できた。

以下では、それぞれの単母音が二重母音、三重母音、鼻母音となった場合に具体的にどのような発音変化に気をつけるべきなのかを詳細に見ていくことにする。

① aについて

[a]と発音するケース：家 jiā, 花 huā, 想 xiǎng, 光 guāng のように ia, ua, iang, uang の場合

[a]と発音するケース：考 kǎo, 来 lái, 笑 xiào, 块 kuài, 难 nán, 换 huàn, 忙 máng のように ao, ai, iao, uai, an, uan, ang の場合

[æ]と発音するケース：aが i と n、ü と n の間に挟まれている見 jiàn, 全 quán の場合。紛らわしい発音で学習者がよく間違える発音である。üan は j, q, x と一緒になった場合は表記方法を変えて uan と表記するため、読み方を間違える場合も多い。

② oについて

[o]と発音するケース：过 guò のように uo の場合

[u]と発音するケース：好 hǎo, 叫 jiào, 空 kòng, 用 yòng/冏 jiǒng のように ao, iao, ong, iong の場合。最も普遍的な o の音である。

[ɤ]と発音するケース：都 dōu/有 yǒu, 就 jiù のように ou, iou の場合

③ eについて

[ɤ]と発音するケース：更 gèng, 翁 wēng のように eng, ueng の場合

[a]と発音するケース：er と表記し、数字の「二」èr として発音をする場合

[ə]と発音するケース：er と表記し、息子の「儿子」ér'zi として発音する場合。また很 hěn, 问 wèn/困 kùn のように en, uen の場合

[ɛ]と発音するケース：借 jiè, 学 xué のように ie の場合

[e]と発音するケース：累 lèi, 位 wèi/会 huì のように ei, uei の場合

④ iについて

[i]と発音するケース：家 jiā, 也 yě/借 jiè, 要 yào/叫 jiào, 有 yǒu/就 jiù, 见 jiàn, 新 xīn, 想 xiǎng のように ia, ie, iao, iou, ian, in, iang の場合

[ɪ]と発音するケース：拍 pāi, 累 lèi のように ai, ei の場合

[ix]と発音するケース：英 yīng/请 qǐng のように i の後ろに他の母音がつくことなく直接 ng と結ばれるが微かに[x]の音が聞こえるような ing の場合

[y]と発音するケース：用 yòng/冏 jiǒng のように iong の場合

[ɪ]と発音するケース：字 zì, 词 cí, 四 sì のように子音の z, c, s と一緒になった場合

[ʌ]と発音するケース：纸 zhǐ, 吃 chī, 是 shì のように子音の zh, ch, sh と一緒になった場合

⑤ uについて

[u]と発音するケース：花 huā, 过 guò, 有 yǒu/就 jiù, 外 wài/块 kuài, 位 wèi/会 huì, 换 huàn, 问 wèn/棍 gùn, 光 guāng, 翁 wēng のように ua, uo, iou/iu, uai, uei/ui, uan, uen/un, uang, ueng の場合。最も普遍的な u の音である。

[u]と発音するケース：有 yǒu/就 jiù のように iou の場合

⑥ üについて

[y]と発音するケース：üは変化がない音として学 xué, 迅 xùn, 全 quán などのようにüe, ün, üan の3つの多重母音を有しているが、変化音なしに単母音の[y]としてのみ発音する。

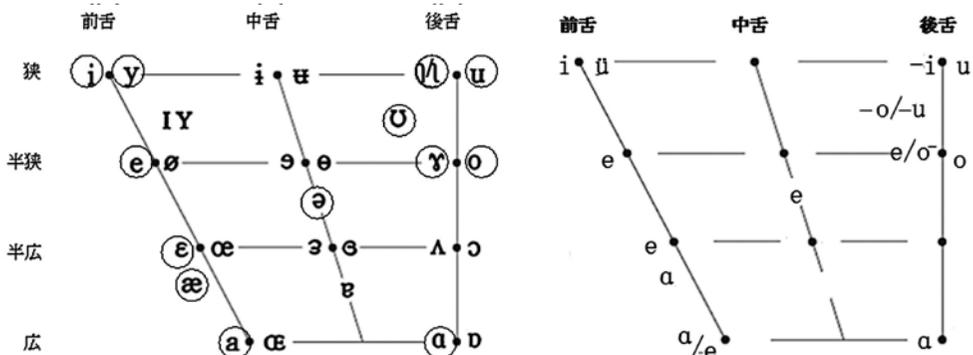
#### 4. 教学における母音指導

2011 年秋学期以前は通常調音音声指導法を用いて単母音を習得させてから多重母音を練習させる段階では発声器官や発音の位置を矯正してあげる方法を用いた。発音矯正手法が必要なのは確かであるが、学習者には発音のルールが掴みにくく、学習量が多く学習負担が重かった。特に学習者には同字異音と同音異字が疑問をもたせ、発音練習に困難を与えた。

分析では膨大な母音発音のルールが発見できたが、指導の際には必ずしもこれらを学習者に覚えさせる必要はない。なぜなら、複雑すぎると学習者には返って混乱を生じさせることや一部の近似音は若干の読み替えがあっても聞き取る側としては意味を理解する上で特に問題が生じないからである。言い換えると、指導上注意を要することは特徴的な発音をする母音を綿密に区別させることである。よって前節の分析に基づいて、同字異音の母音の中からさらに[a]と[a]のような近似音を排除し、同じ表記方法を使いながらも特定な発音をする母音をピックアップする工夫をしてみた。事実上、近似音は読み替えをしたとしても若干の違和感が残るものの、エラー読みとして判断されにくい。ではどのような音が近似音で読み替えしても発音の理解に大きな支障がないのかを経験則に基づいて考えてみることにする。図1は発音の位置を IPA 表記にしたものとピンイン表記にしたものであるが、この図からは近似音が確認できる。

- ① a では口を大きく開けて喉の奥で出す[a]と口をあまり大きく開けずに出す[a]が近似音であるため、読み替えても許容できる範囲となる。しかし[æ]はianとüanの二つの場合にのみ発する特別な読み方であるため、[a]や[a]に代替することができない。
- ② o では 唇を丸め、突き出しながら発音する[o]は[u]の発音と[o]の発音の間音である[u]と近似した音に聞こえる。しかし[x]は唇を日本語の「エ」という形にして発音するので発音を間違えないように注意を払う必要がある。
- ③ e では[x], [ə], [e] は近似音に聞こえるが、[a]を[x], [ə], [e]のいずれかの音で代替すると明らかなミスと判断される。[æ]の音は ie と üe の二つの場合にのみ発する特別な読み方であり、他の音で代替できないため、注意を払う必要がある。
- ④ i では[i], [ɿ]は唇を横に開く程度によって若干異なって聞こえる音であり、近似音である。[ix]はingの場合にのみ、[y]はiongの場合にのみ、[ɿ]はz,c,sの後ろにある場合にのみ、[ʅ]はzh,ch,shの場合にのみ発する音であるため、発音時には注意が必要である。
- ⑤ u の[u] と[u]は近似音になるため、両者を読み替えても誤解を生むような聞き間違いは起きない。

図1 IPA 表記とピンイン表記による中国語母音の発音位置



注) 左側の図は IPA 表記であり、○をつけた部分が中国語の母音の発音である。右側の図は左側の IPA 表記をピンイン表記に置き換えたものである。

以上の近似音を習得させるために工夫したのが、2011年の秋学期から実験しはじめた手拍子による母音指導方法である。手拍子による母音指導法とは、まずは6つの単母音を習得させた後に、多重母音を習得させる段階でそれぞれの単母音を1拍子とし、手を叩くリズムに合わせてそれぞれの母音を読み上げるが、読むスピードを徐々にあげていき、最終的に二重母音の2拍子は1拍子に、三重母音の3拍子は1拍子に短く読んだ時に自然に残る音が多重母音の音になるトレーニング方法である。

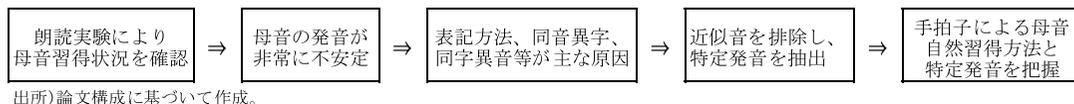
例えば、iao の場合は i(1拍子、読み上げ)+a(1拍子、手拍子)+o(1拍子、読み上げ)もしくは i(1拍子、手拍子)+a(1拍子、読み上げ)+o(1拍子、手拍子)のように手を叩いてリズム感を出して拍子を意識させながら、読むスピードをだんだんと速くアップさせていき、最終的に自然に1拍子として残る[iaʊ]の音がiaoの発音になる。このように繰り返し実験してみると、ほとんどの音は無理なく自然に覚えることができた。しかし、表3から表8で網掛状にしたian[iæn], üan[yæn], ou[xʊ], iou[ixʊ], ong[ʊŋ], iong[yʊŋ], er[aɪ/əɪ], ie[iɛ], üe[yɛ], ing[iŋŋ], zi[tʂɪ], ci[tʂʻɪ], si[sɪ], zhi[tʂʻɿ], chi[tʂʻɿ], shi[ʂɿ], ri[rʻɿ]の17個の発音である。これら特定の読み方をする母音に関しては手拍子では習得が難しいため、読み方を発音ルールのままに覚える必要がある。

2011年秋 semester にこれらの方法を実施し、Step1として授業で単母音を習得させてから、Step2として若干の発音ルールを理解させ、Step3として学習者に手拍子による発音指導をし、Step4で表3から表8までに網掛け状にした17の特定音の指導をした。その結果、発音モデルを聞かなくても学習者は自宅で手拍子による発音手法によって母音の判断ができ、きれいに発音することができるようになった。

## 5. おわりに

本稿では図2でまとめた研究の流れのように、まずは初級中国語学習者の発音習得状況を録音データの分析に基づいて考察した。しかし、録音データから確認できたのは学習者の母音発音が非常に不安定であることだった。よって、その原因を探るために主な手法としてIPA表記法を用いて母音の発音分析をした結果、母音には表記上の問題や同音異字と同字異音の現象が生じているため、一つの母音のピンイン表記に対して多数の発音がある場合もあれば、一つの音に対していくつかのピンイン表記方法が存在する場合もあることが確認できた。ところが学習者に複雑な母音の発音ルールを全部覚えさせることは至難であるため、工夫してみた結果、手拍子による母音習得手法が多重母音を習得させるのに便利な方法であることが確認できた。しかし、手拍子自然習得法のルールとは外れた17個の特定発音に関しては、そのルールを覚えさせる方法をとった。この指導方法は38の母音を18パターン(17個の特定ルール+手拍子方法)に縮めた方法をとって学習者の理解を助長し、学習負担を大いに軽減させた。

図2 本論文の研究の流れ



以上、母音の発音における問題点を対象に考察をしてきたが、ピンイン表記は学習者にとってはもう一つの難関であるため、これらは今後の課題としたい。また今回は分析が間に合わなかった子音と声調に関しても、今後母音研究と同じ枠組みの中で分析したい。

## 謝辞

本稿の作成にあたっては、2011年の春学期に筆者が担当した中国語Iの0Dクラスと0Gクラスからとった朗読録音データの一部を活用しているが、データ使用に承諾し協力してくれた学生諸君に感謝の意を表したい。また本誌への掲載が決まるまで有益なコメントを寄せて下さった編集委員の方達にも心より感謝申し上げます。

注

1. 臨界期仮説は 1967 年にレネバーグが主張した仮説で、言語の臨界期は出生から思春期までであるとしている。臨界期を過ぎると母語を使う機会が多くなるなどの原因により、第二言語を習得する能力が徐々に後退していくという。
2. 声調を付ける位置のルールとは、声調は母音に付けることになっているので、母音が一つだけの場合は表記しやすいが、多重母音の場合には母音の強弱順によって決まる。母音の強弱は a, o, e, i, u, ü で弱順になり、iu を除いてすべての多重母音において声調は強い母音に付けることがルールとなっている。
  - ・ 二重母音：āo, ōu, āi, ēi, iā, iē, uā, uō, ūē
  - ・ 三重母音：iao, Iou/iu (iu だけは例外で i より弱い母音 u に声調をつける), uai, uei/ui
  - ・ 鼻母音：iān, iāng, iōng, uān, uāng, uēn, uēng, ūn
3. 子音を付ける場合と付けない場合の表記方法とは「子音+母音」の場合は特に問題ないが、母音発音を表記する場合には気をつけなければならない。本文でも述べたように子音は母音なしでは単独に発音が成り立たないが、母音は単独に発音が成立する。ところが母音のみの発音を表記する場合に、弱い単母音或いは介母(Medial)が弱い母音 i, u, ü の場合は特にその表記方法に気をつける必要がある。
  - ・ i の前に y を書き加える場合：i-yi, in-yin, ing-ying
  - ・ i を y に書き換える：ia-ya, ie-ye, iao-yao, iou-you, ian-yan, iang-yang, iong-yong
  - ・ u の前に w を書き加える場合：u-wu
  - ・ u を w に書き換える：ua-wa, uo-wo, uai-wai, uei-wei, uan-wan, uang-wang, uen-wen, ueng-weng
  - ・ ü を yu に書き換える：üe-yue, ūan-yuan, ūn-yun
 介音が強い多重母音：āo, ōu, āi, ēi, an, en, ang, eng, ong は表記方法を変えなくていい。
4. 中国語の音節の構造は「子音+母音」の形をしているが、弱強(弱い母音が前で強い母音が後ろにある母音で ia, ie, ua, uo, ūe) 二重母音と鼻母音は「主母音(Vowel)+尾音(Ending)」の形をしており、強弱(強い母音が前で弱い母音が後ろにある母音で ao, ou, ai, ei) 二重母音は「介母+主母音」三重母音の場合には「介母+主母音+尾音」の形をしている。

参考文献

- 兪稔生 (2005) 「中国語教授法の変遷」、『現代社会学部紀要』第 3 巻 1 号、9～14
- 内田浩樹 (2008) 「日本語母語話者が訓練すべき英語の音素 - 発音訓練が聴解分野にもたらす効果 -」、『鳥取環境大学紀要』第 6 号 39～48
- 齊藤純男 (2006) 『日本語音声学入門』、三省堂